

経営改善部門

滋賀県東近江市 有限会社花匠
(代表取締役：川口 かわぐち 正 ただし 氏)



○ 経営規模：胡蝶蘭0.3ha

(注) 数字は令和3年のもの

経営展開のポイント

- ・ シンビジウムと胡蝶蘭の2品目を生産する家族経営であったが、雇用型の安定経営を目指し、平成17年に現経営者への経営移譲と同時に法人化するとともに、通年での栽培・出荷が可能な胡蝶蘭単品生産へ転換し規模を拡大。
- ・ 周年出荷を可能とするため、海外とのリレー栽培を実践。生育に適した気候の台湾や東南アジアで苗を養成し、苗を輸入して花芽分化から出荷までを日本で行うことで、栽培期間が6か月に短縮され施設回転率が大幅に向上した。
- ・ 温度、湿度、日射量を一元管理できる全自動環境制御ハウスを導入し、数年かけて胡蝶蘭栽培に適したプログラムを構築。その結果、病害虫の減少等により、株廃棄率は3%まで低下し高品質安定生産と栽培管理の省力化を実現。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大以前は、海外の育苗会社等を年3回ほど訪問し、新品種の入手や生育状況の確認、管理方法の要望や意見交換等を行い、信頼関係を築いてきた。これにより、物流が一時ストップした際も、早期に海外からの苗の確保が再開でき、他社が需要に応えられない中、売上の向上につながった。
- ・ 就農体験研修の場として、地域の農業高校や農業大学校の生徒を研修生として受け入れ、卒業後に就農した実績もある。また、地域の女性を多く雇用するとともに、長く勤めてもらうことを重視し、家庭の事情等による勤務の要望に柔軟に対応している。